



小学校生活最高の思い出 6年 修学旅行

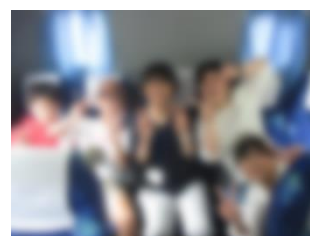
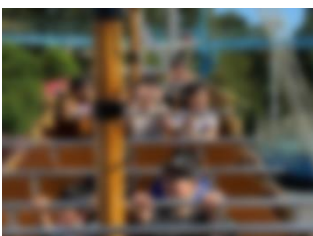
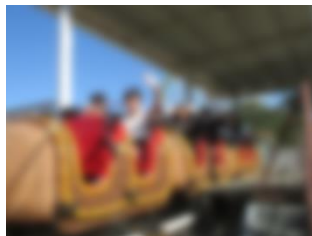
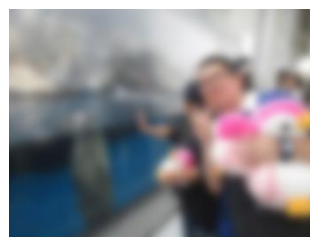
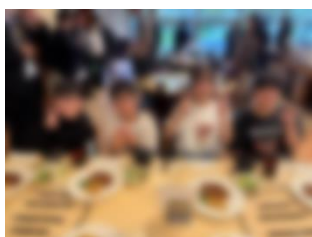
9月29日(火)・30日(水)と、6年生が仙台・松島への修学旅行に行ってきました。「キミのことをもっと知る旅 in 仙台」のスローガンのもと、充実した2日間を過ごしてきました。

1日目には、震災遺構の仙台市立荒浜小学校を見学しました。震災を経験していない子供たち。津波の爪痕やガイドの方のお話から、自然の力の大きさ、津波の怖さを感じるとともに、語り継ぐ取組や防災の備え、復興に向けた歩みの大切さも改めて感じていました。

2日目の最後は、八木山ベニーランドで楽しい時間を過ごしました。乗り物など得意・不得意もある中、友達のことを気遣い、譲り合いながら、みんなで楽しもうとする微笑ましい姿がたくさん見られました。

その他、気持ちのよいあいさつや反応、見学先や宿泊先での時間やマナーを守った行動など、見ていてとても気持ちがよかったです。さすが6年生でした。小学校生活最高の思い出を胸に、絆をさらに確かなものにしながら、卒業までの半年を過ごしてほしいです。

保護者の皆様には、準備や体調管理の面でお世話いただき、ありがとうございました。



いざという時に備える 引渡し訓練

9月24日(木)に、全校児童を対象とした引渡し訓練を実施しました。

「クマが学区に出現し徘徊しているため、徒歩による安全な下校ができなくなった」という想定で、児童センターや放課後等デイサービスなどのご協力もいただきながら行いました。事前のカードの提出、学団ごとに区切った時間設定、限られた駐車スペースでの待機など、保護者の皆様のご協力により実施することができました。

有事の際は、無理に引き渡すより学校に留めおいた方が安全な場合もあります。今回の対応を基本としながら、今後想定される様々な災害等に、子供たちの命を最優先として臨機応変に対応して参ります。ご協力、ありがとうございました。



貴重なご意見に感謝 第2回学校運営協議会

9月25日(金)は、今年度の2回目の授業参観日でした。2学期が始まって約1か月。生き生きと学習に取り組む様子をみていただけたと思います。

同じ日に、学校運営協議会の委員の皆様にも授業をご覧いただいたうえで、第2回の学校運営協議会を開催しました。お忙しい中、10名の委員の皆様にご参加いただきました。主な話題は以下の通りです。

〈第1回まなびフェスタアンケートの結果について〉

- 保護者の回答で「(お子さんは)自分からあいさつをしていると思いますか」という質問に対する肯定回答(そう思う・どちらかといえばそう思う)が低い。何年か前から低くなっているように感じており、非常に残念。

まなびフェスタ②「**進んであいさつ**」については、ベップトークの第一歩として、今後も大切にしていきます。ご家庭でも積極的なあいさつをお願いします。

〈地域防災等について〉

- 地域にクマの出没情報はるか。
→【事務局】市教委からメールが随時入る仕組みになっている。今年度は未だない。
- 見前7・8区は見前南中学区である。災害に関する連絡体制はどうなっているか。
→【事務局】今回作成・配付した「見前中学校区 災害時の対応」は、南中・南小とも共有している。先日の大雨の際も連携して同じ対応をとったところ。
- 子供の防災意識を高めることも必要。災害時の家庭での対応やハザードマップについてなど、親子で考えることが大切。
→【事務局】災害時はもちろんのこと、普段も「朝の安否確認」を徹底している。連絡がなく登校していない場合は、必ず学校から電話連絡をしている。
- 停電した場合など、スマホに頼らない備えも必要ではないか。保護者や地域の横のつながりが大切である。
- 登下校時の歩き方、自転車の乗り方など、「危ない」と思うことがある。注意できる大人でありたいし、注意できる大人を増やしたい。

〈その他〉

- 保護者同士のつながりがあまり無い。気軽に話したり、相談したりできるつながりを維持していきたい。

